

## 第10回福祉教育研究フォーラム・開会のごあいさつ

おはようございます。日本福祉大学学長の二木です。本日は祝日にもかかわらず、第10回福祉教育研究フォーラムにご参加いただき、ありがとうございます。以下、日本福祉大学学長兼日本社会福祉教育学校連盟会長として、ご挨拶させていただきます。

本フォーラムは、高校と大学の教職員の福祉教育に関する研究交流の場として、2007年に初めて立ち上げた後、毎年開催して、今回は記念すべき10回目となります。そのため、例年よりもはるかに盛りだくさんのプログラムを組みました。具体的には、この10年間本フォーラムが積み上げてきたものを振りかえるシンポジウム、このフォーラム等で学んだ各大学の「卒業生報告」、そして記念シンポジウム「これからの福祉人財をどう教育していくか」です。シンポジストは、本フォーラムで第1回から毎年御参加頂き、最新の情報を提供していただいている矢幅清司文部科学省初等中等教育局視学官に加えて、上野谷加代子同志社大学教授・本学客員教授と米谷浩名古屋市長立西陵高等学校教諭にお願いしました。

実は、本フォーラムは、現在私が会長を務めている日本社会福祉教育学校連盟が毎年実施している「福祉教育研修講座」の地方ブロック版として始まったのですが、地方ブロック単位の講座・研究会が継続的に開催されているのは本フォーラムだけです。学校連盟の講座は、来年1月7・8日に第18回を開催します。そのチラシも資料に入れておきましたので、ぜひご参加下さい。なお、日本社会福祉教育学校連盟は来年度、日本社会福祉士養成校協会、日本精神保健福祉士養成校協会と組織統合して、「日本ソーシャルワーク教育学校連盟」（略称・ソ教連）が発足する予定ですが、この講座はソ教連の重要事業として、来年度以降も継続する予定です。

ご承知と思いますが、本フォーラムの一環として、福祉を学ぶ大学生と高校生たちの出会いと学びの交流を目指した「高校生・大学生のつどい」を8月21日（日）に本学の美浜キャンパスで開催します。私はこれにも参加し、大学生・高校生の若々しい発表を聞くのを楽しみにしています。皆様も、ぜひご参加下さい。

もう一つご案内があります。本学は、実習教育などでお世話になっている愛知県内の社会福祉法人との間で「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知」を設立しています。この組織は、大学と福祉現場による社会福祉教育・研究の相互交流を通して、愛知における福祉人財の養成と福祉実践の向上、ひいては愛知の福祉の発展に寄与していくことを目的としています。そして、このフォーラム愛知主催で別紙の通り8月5月に今年度第1回研修会を開催し、私が「社会福祉士をめぐる政策動向と人材教育の課題」について基調報告します。福祉人財の確保・養成は、今や、1大学と社会福祉法人だけではなく、高校や小中学校などとも協同した取り組みが求められる重要な課題になっています。皆様には、是非この「研修会」にもご参加いただきたくご案内申し上げます。

最後にお願いがあります。ご承知のように、本学は日本で最初に社会福祉学部を開設した老舗の福祉系大学ですが、近年の少子化と若者・高校生の福祉離れのために、学生募集で苦戦しています。それだけに、多くの福祉系高校から意欲的な学生さんをお引き受けしたいと思っています。福祉系高校出身者の向学心は非常に強く、4年間の在学中のトータルな学力の伸び率は普通科高校出身者よりもはるかに高いため、大歓迎です。よろしく申し上げます。

以上で、私のご挨拶を終わらせて頂きます。

2016年7月18日

日本福祉大学学長・日本社会福祉教育学校連盟会長

二木 立